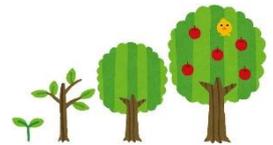


人材育成基本研修



～職員の自己成長を促す組織づくりと研修の果たすべき役割～

◆研修のねらい

日常業務に追われる中で、職員育成が止まることであってはなりません。効果的な研修実施も重要ですが、人材育成という概念自体を深く理解し、組織そのものが人を育てる場になっていくことを目指す必要があります。

この研修では、組織全体での人材育成を促進することを最大の目的とし、職員側で自ら成長しようとする意識を持つ重要性や、成長を促す上で逆効果となっている取組への理解等も含めて、職員一人ひとりの成長を支援する組織に近づける過程を解説します。

また、複線型人事の考え方や全員が「真の行革」意識を持つ意義等も取り上げ、従来とは違う意識で人事・研修業務に携わることの必要性についても理解していただくことを目的としています。

※研修終了後に、研修担当者間のネットワークづくりを兼ねて、当研修センターの研修事業説明会を開催します。

◆講師情報

フロネシス・インスティテュート株式会社
代表取締役
経営コンサルタント&エグゼクティブ・コーチ
出馬 幹也（いずま みきや）

◆予定科目

- 1 人材成長のプロセス
- 2 人が育つ瞬間とは？
- 3 効果的な研修とは？
- 4 逆効果になる取組
- 5 組織への理解と評価
- 6 複線型人事の可能性
- 7 真の行革意識を持つ

◆スケジュール

13:00	13:30	15:30	17:00
受付	講義	研修事業説明会	

◆研修情報

●対象者 研修担当課長及び担当者
受講を希望する職員

●募集人員 40名

●日程及び会場

令和7年4月9日(水)

自治会館3階大会議室

※講師はオンラインでの登壇となります。

◆研修担当者から

この研修では、「人材育成」「自治体職員に求められる能力」「職員研修の役割」などをテーマに、毎年様々な分野から講師を迎えて開催しています。

今回の講師である出馬幹也氏は、早稲田大学マニフェスト研究所・人材マネジメント部会の部会長を設立時から18年間務められ、地方自治体の管理職向け研修等も数多く手掛けられてきた「人材育成のプロフェッショナル」です。

職員の自己成長のための具体的なアプローチや効果的な研修方法、組織として進める人材育成戦略、複線型人事制度、そもそもの意義に立ち返った上での行革意識を持つ重要性など、様々な視点から人材育成を学ぶことができる研修となっています。

研修担当課長及び研修担当者だけでなく、どなたでも受講できます。人材育成に興味をお持ちの皆さんの受講をお待ちしています。

OJT(職場内訓練)指導者育成研修

～どう進めればいいのか？未来の人材育成に向けて～



◆こんな方におすすめ！

- ・部下や後輩を持つ中堅職員以上の方
- ・職場でOJT研修の講師をする予定の方
- ・人材育成担当の方

◆研修のねらい

OJTとは、On the Job Trainingの略で、先輩が後輩に対し、業務に必要な知識やスキルを実践しながら伝承するという人材育成のやり方です。

人口減少や少子高齢化が進む中、各自治体では限られた人材を最大限に活用し、持続可能な行政サービスが提供できる体制構築のため、組織力の向上を図る必要があります。

そのために、OJTの基本的な考え方を理解し、職場での部下や後輩への指導スキルを身につけ、職員の能力向上および組織力向上を目指すことが研修のねらいです。

◆講師情報

株式会社行政マネジメント研究所
専任講師 佐野 青子

◆予定科目

- 1 OJTの基本的な考え方
 - ・OJTがより重要になっている背景
 - ・OJTの手法の種類
- 2 職場の状況を把握する
 - ・部下に改めて欲しいこと
 - ・自身の過程を振り返る
 - ・自身の改めるべきこと
- 3 指導育成の前提
- 4 成長の可視化
- 5 指導育成のコミュニケーション

◆スケジュール

9:45	10:00	12:00	13:00	16:30	16:45
開講式 オリエンテーション	予定科目1～2	休憩	予定科目3～5	ふりかえり シート	

◆関連研修

- ・メンタルヘルス対応セミナー(メンタルダウンした職員との接し方を学びたい方)
- ・ハラスメント防止基礎セミナー(ハラスメントのない職場環境づくりについて学びたい方)

◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 24名
- 日程及び会場
令和7年10月2日(木)
オンライン研修

◆研修担当者から

行政の現場では、限られた人材を最大限に活用し、持続可能なサービスを提供するため、組織力の向上がますます重要になっています。それに伴い、OJT(職場内訓練)の役割が注目されています。

昨年度の研修ではOJTの重要性について学びましたが、今回は、現場での懸念事項についてペアワークを通じて共有し、それらを解消するための基本的な考え方を解説します。その後、OJTを実践的に進めるための「仕事の教え方」について、具体的な方法を説明し、受講者自身の業務に基づいたワークを行います。

本研修では、OJTの重要性や実践的な指導方法を学ぶだけでなく、受講者同士が体験談を交換することにより、現場での課題解決に役立つヒントを得ることができます。

職員の能力向上と組織力強化を目指し、共に学び、成長できる研修です。ぜひ受講していただき、日々の業務に役立つスキルを身につけてください。